

# 休日における部活動地域移行アンケート（生徒）



**期間：2023年7月～8月**

**対象：村内中学1～3年生**

**回答率：84%（1253/1489名）**

※本アンケート調査による検証結果（1～4）を記載しております。各調査の結果、質問項目の詳細については部活動地域移行に関する調査（生徒）をご確認ください。

## 検証1：生徒の「部活動改革」への理解

- 結果のまとめ
  - ・部活動改革が推進されていることを知っている生徒は**28%程度**  
→**全国平均（25%）**よりは高いが、さらなる生徒への周知が必要

- 考察  
改革推進のため、生徒、そして保護者への理解を継続して促進していく必要がある。



## 検証2：生徒の生活実態

- 結果のまとめ
  - ・平日の部活動において**週5日**の活動日が**31%**と全国（16%）に比べ活動日が多い。
  - ・睡眠時間が**6時間以下**の生徒が**約30%**いる  
（推奨睡眠時間：8時間30分）
  - ・**半数**近くの生徒が「友人や家族と過ごしたい」「趣味の時間が欲しい」と回答

- 考察  
心身の健全な発育発達のためにも、活動時間数の見直しが必要である。

## 検証3：現在の部活動環境

- 結果のまとめ
  - ・活動内容について「半分またはほとんど自分たちで決めている」生徒が**44%程度**いる  
→**全国（33%）と比較して高い数字**
  - ・**86%**の生徒が今の部活動に満足している

- 考察  
「主体的な意思決定」がこれからの子どもにたちには必要があり、自分のやりたい活動を主体的に「自己決定する機会」を増やす必要がある。

## 検証4：より良い地域活動に向けて

- 結果のまとめ
  - ・**8割以上**の生徒が「地域で他校の生徒と一緒に活動したい」との回答
  - ・Q33からより良い活動のためには**地域全体**で「**健康への配慮・専門的指導・やりたい種目**ができる」ことが求められている

- 考察  
地域全体で「**楽しめる・選択肢のある**」文化スポーツ活動を創っていく必要がある。

